

# WHERE IN THE WORLD ARE YOU SAFE FROM BPA?

警告を発するメディアレポートが真実なのか、あるいはBPA曝露は安全なのか？  
科学誌"Environmental Pollution"に掲載された最新の査読付き研究では、BPAのヒトへの曝露  
に関する先行研究のデータが収集され、この疑問に答えています。

## 研究者は何を試験したの ですか？

研究者らは解析を行うために30カ国から85,000以上のデータポイントが含まれている140以上の査読付き研究を発見しました。<sup>i</sup> これらの研究の曝露レベルを、世界中の政府機関が設定した安全摂取限度と比較しました。



140 の査読付き研究



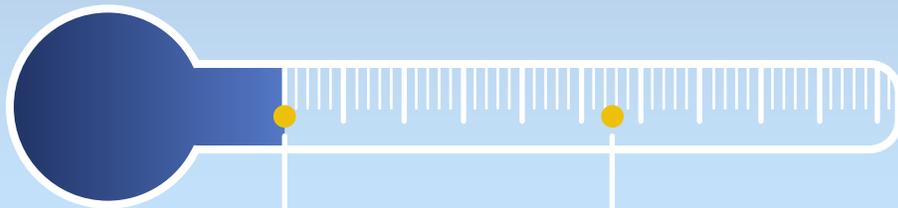
85,000 のデータ  
ポイント



30 カ国

## 彼らの目標は何でしょうか？

実際にヒトがBPAにどのくらい曝露しているか究明し、  
そのレベルが健康へのリスクがあるかどうかを判断する



ヒトへの実曝露レベル      政府機関の設定した安全摂取限度

## 彼らは何を発見したのですか？

この研究結果では、ヒトへのBPAの実曝露は、政府機関が設定した安全摂取限度の数百～数千分の1と低いことが示されました。<sup>ii</sup> 大量のデータ(30カ国から85,000データポイント)があるので、研究者は結果が世界中のBPA曝露を正確に評価したものであると確信を持って述べる事が可能です。

## それでは一体、BPAはどこから 安全なのでしょう？

データに基づけば、どこでも安全 !!

この研究データは、BPAに関する世界中の政府機関の見解を強力に支持しています。米国食品医薬品局(FDA)は、「BPAは安全ですか？」という質問に答え、明確な回答「はい。」と答えています。<sup>iii</sup> 同様に、欧州食品安全機関(EFSA)は、「現在の曝露レベルでは、BPAは未就学児、幼児および青少年を含むあらゆる年齢層の消費者に健康リスクをもたらさない。」と述べています。<sup>iv</sup>

<sup>i</sup> Huang, R., Liu, Z., Yuan, S., Yin, H., Dang, Z., Wu, P. (2017). Worldwide human daily intakes of bisphenol A (BPA) estimated from global urinary concentration data (2000–2016) and its risk analysis. Environmental Pollution, 230, 143–152. doi: 10.1016/j.envpol.2017.06.026.

<sup>ii</sup> Ibid.

<sup>iii</sup> <https://www.fda.gov/food/ingredientspackaginglabeling/foodadditivesingredients/ucm355155.htm>

<sup>iv</sup> <http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/150121>



**FACTS ABOUT BPA**

FactsAboutBPA.org